

令和4年度

地区座談会 開催

令和4年度の地区座談会が行われ、各地区での様々な課題について活発な意見交換が行われました。詳細は本誌2ページより掲載しております。



さかた総合市場



由良総括支所



念珠関総括支所

令和4年度

地区座談会

令和4年12月損益実績を踏まえた年間収支見込について、信用事業譲渡の延期について販売手数料の改定について及び今後の運営について説明するとともに、広く意見を承るため、2月22日から各地区で座談会を開催しました。

主なご意見・ご要望について掲載いたします。

加茂出張所

2月22日(水)
午前8時 出席者18名



Q 毎年、強風や潮流により小型船の船溜に蓄積する砂は、秋に海水浴場に運搬してもらっているが、現在も船溜には砂が蓄積して浅くなり、注意しながら航行している状態である。引き続き、組合から県に浚渫の要望をしてほしい。

A 3月中に県との会議が予定されているので要望する。

Q 油戸漁港内にも多くの砂が蓄積している。昨年30年ぶりに浚渫してもらったが、鶴岡市の予算の関係で、十分な浚渫が行われていない。

A 再度要望していく。

※販売手数料の改定について反対意見はなかった。

豊浦支所

2月22日(水)
午前10時30分 出席者20名

Q 販売手数料を1%上げることが仕方ないことだと思うが、それで賄える様に努力してもらいたい。仮に信用譲渡した場合に融資は今までどおり受けられるのか。

A 融資の条件は現状と変わらない。一億円以上については東日本信漁連の本店で審査を受けることになる。

Q 燃油等の高騰や水揚減少の中でも漁を頑張ることが漁師の一番の仕事であり、そうしなければ水揚げに繋がらない。

A 販売手数料を1%を上げるか

らには、しっかりと気を締めて運営していきたい。

Q 灯油の割引券は、すいさん山形と一緒に配布していただき良い事だと思った。組合員や利用者に対しての還元というだけでなく、新規に顧客を増やす意味でも続けてもらいたい。購買事業だけでなく信用・加工事業でも戦略を考えていただき、組合員への還元と共に組合事業拡大をしっかりとやっていただきたい。



A 灯油の割引券については、例年ゴミ袋を配付していたが、今回は灯油価格の高騰もあり割引

券を出させて頂いた。初の試みであったが、好評であれば継続していきたい。

Q 東日本信漁連への譲渡にこだわっている理由を説明していただきたい。また、手数料の改定は組合運営上致し方ないが、1%上げていつまでもつのか。

A 信用事業譲渡については、広域な組織と一緒にあって運営基盤を安定させ、組合員の皆様に信用して頂く体制を構築することが必要だと考えている。また、信用事業をなくすことは出来ないとの考えから譲渡を検討してきたが、2期連続の赤字が想定され延期となった。販売手数料については、理事会では2%と言う声も挙がったが、資材や燃油が高騰しているなかでは厳しいという意見があった。水揚げだけに頼らない事業として、コンサルタントを交え加工事業を伸長する計画を進めており、来年度、新中期経営計画(案)の説明等でお示しする。

※販売手数料の改定について反対意見はなかった。

由良総括支所

2月22日(水)
午後1時 出席者14名



Q 人件費について、平成28年度から職員の給料は上がっているのか。

A 定期昇給は毎年行っている。また、年度末に剰余金が見込まれる場合においては、期末手当を支給している。

Q 販売手数料を1%上げて組合はいつまでもつのか。

A 信用事業譲渡の協議を進める中で、数年後にはもう1%上げ

る案も出ていた。しかし、信用事業譲渡が延期になったことから、もう一度計画を練り直し、水揚げだけに頼らない事業運営を目指す上で、1%の改定で進もうという事になった。

Q 他県から比べると遅れている気がする。他県では販売手数料が9%のところもあるが、組合員は協力している。組合は賦課金等を上げる考えはないのか。

A 北陸の方では販売手数料が10%のところもあるが、理事会では一度に数パーセント上げるのは困難という意見もあり、他の事業で利益を上げるべきとの考えがある。賦課金については数年前にも見直したが、今後検討していく。

Q 上架場の修復について進捗状況をうかがいたい。

A 工事関係事業者を交え話し合いをもった。負担割合を確定し今年6月頃まで改修したい。今後、上架する際はなるべく船を軽くしていただきたい。

Q 機関換装により軽油を使用する船が増えている。現在のA重油タンクを軽油に変更していただけないか。

A 重油から軽油に変えることはできるが、重油はローリーで持つてくるのができないため、利用する方全員の同意を得なければならぬ。

Q 軽油ローリーは土曜日でも配達はしてくれるのか。

A 交渉次第だが、平日のみと考えていただきたい。また、軽油に切り替える際注意していただきたいのが、免税券は申請から発行まで約一か月はかかる。免税券の発行前の給油は課税軽油になるのでご注意ください。

Q 東側岸壁で、時化の波がかなり上がってくるので越波対策をお願いしたい。

A 3月中に関係者と港湾について話し合いがあるので、相談する。

Q 市場の海側にあるドアが劣化し、レールが外れて開け閉めできない。側溝の蓋も穴が開いて危険なので点検修理等をお願いしたい。

A 了解した。

Q 岩ガキの検査結果について、もう少し早く出せないのか。

A 国のガイドラインに沿って行っている。その為検査に時間を

要するがご理解願いたい。
※販売手数料の改定について反対
意見はなかった。

念珠関総括支所

2月28日(火)
午前10時 出席者25名



Q 販売手数料を1%上げること
に賛成する。組合の職員は辞め
る人はいても新たに就職する人
がない現状なので、販売手数
料を1%上げるからには職員の

待遇を改善しないといけない。

水揚げしている組合員だけに負
担をかけるのではなく、賦課金を
値上げし組合員全体で、平等に
組合の経営改善してもらいた
い。また、遊漁、直売手数料を
自己申告ではなく、税務申告書
をもって徴収しなければ不公平
になるのではないか。そういつ
た取り組みが見られなければ、
次に1%上げることになった際
には賛同できない。また、信用
事業については、何としても守
ってもらいたい。不採算地区の
信用事業撤退については、組合
長自ら動いてもらいたい。

A 信用事業撤退の話は由良の座
談会でも出された。昭和40年代
に1県1漁協となった時、赤字
の組合に負担を強いることなく
合併したから、当組合は58年間
続けてこれたと思う。最近合併
した組合では、赤字の支所は合
併後も支所所属の組合員が負担
している。そのように変えると
大変なので、今のやり方で経営
を安定させなければならぬ。
仮に、信用事業を譲渡した場
合には、1店舗しか置けないと
言われている。譲渡せずとも、

改革をしていかないと漁協も
たない。市場を使っている一部
の組合員にだけ頼るのではなく、
すべての組合員に頼るのならば、
賦課金、若しくは負担金が有効
だと思ふ。しかし、平成27年度
に賦課金を上げたばかりであり、
反感が生まれることが予想され
る。もう一度、理事会にて協議
したい。

また、2年続けて赤字になる
と制約を受け、固定資産が持て
なくなったり貸付に制限を受け
たりする。農林中金などが納得
する計画を立てなければ組合経
営そのものが継続できなくなる
ので、しっかりとした中期経営
計画を立てていきたい。

Q ATMを外に置くことはでき
ないのか。

A 設備投資の部分で厳しい。A
TMが古くなってきており、入
替については利用実態を踏まえ
検討したいと考えている。

Q 新規に組合員が加入しても、
水揚げをしない人が多い。組合
から指導できないのか。例えば
一定の水揚げがない場合、負担
金を出してもどう等できないか。

A 新規組合員は、地元の資格審

査を通っている。水揚げについ
ては組合でも声掛けはしていく。
Q 早急に経営改善を行い黒字と
なった際は、鼠ヶ関上架場の整
備に着手していただきたい。

A 3月2日に港湾関係者との話
し合いがあるので、ウインチと
土台整備の要望をする。

Q 水揚げを50万円以上している
船が減って、50万円未満の船が
増えているのはなぜか。

A 隻数は減っていないが働く人
が減っている。漁師になる理由
が出荷目的でなくなっている。
実績のある船を減らさないよう
にする取り組みが必要と考えて
いる。

Q 会社員が定年退職後に組合員
になり、水揚げもせず、権利だ
け主張する人が今後増加する可
能性があるため対策が必要だ。
また、集荷所を手数料収入のみ
で賄えきれない場合についてはど
う考えているのか。

A そうした集荷所を一挙に廃止
することはできないので徐々に
と考えている。

Q リース事業を使っても船体や
エンジンは高額で、個人では手
がでない。船を新造する際は補

助を割り増ししてもらえよう、全漁連等に訴えてもらいたい。

A リース事業が始まった頃と比べると、導入価格が上がっている。その差額をどう埋めるかという話がある。

Q 新リース事業は一回使うと使えなくなる。改定してもらいたい。

A 新リース事業は人気があり、全国レベルでは広く使ってもらいたいとの意向で、遠慮していただきたいと後になって周知された。要望していく。

Q 出荷の際、魚箱と氷代を合わせると300円以上かかっている。最低販売価格を500円くらいにしたい。

A 以前と比べ仲買人が2名ほど増えており、販売価格は上がっている。

※販売手数料の改定について反対意見はなかった。

温海出張所

2月28日(火)
午後1時30分 出席者9名

Q 未収金回収に努めるとあるが何の未収金を指しているのか。



A 主に購買未収金の事で、購買未収金の徴収が組合の収益に繋がることから、回収に努めたい。

Q 魚の単価が2%も上がるならば販売手数料を1%上げても問題は無い。スーパーでは浜値の3倍近い値段で売っている。

A 同じ日でも鮮度等で市場での価格差が出ている。平成18年頃の市場のkg単価は380円くらいだったが、現在は475円まで上がっている。

Q どうすれば魚価が高くなるのか指導して欲しい。付加価値を

付け高く売る努力を、組合のみならず漁業者も一緒に考える姿勢でやって欲しい。

A 底曳網では活エビ出荷を行う等、付加価値を付ける取組みを行っている。アワビの水揚げ量が減少していることからイガイに注目するなど、ただ出荷するだけでなく、売り先を見つけて販売していく取組を考えている。※販売手数料の改定について反対意見はなかった。

さかた総合市場

3月7日(火)
午前10時 出席者12名

Q 販売手数料を1%上げることにより、他の市場に魚が流れていくことになってしまっているのではないかと懸念している。

A そういう事もあるかもしれないが、漁業協同組合は組合員が作る組織であり、組織を運営していくにあたっては、組合員に魚を出荷してもらいたい。

Q この先10年、漁協を維持していけるのか。



A 水揚げだけに頼らない経営をしていく為に共済事業や購買事業にも力を入れ、皆様に迷惑をかけないようにしていく。

Q 朝競売に出荷する際、前日に余った氷を使っている。中には溶け気味の氷もあり、せつかく持ってきた魚がもつたない。なるべく氷を残さないようにしてもらいたい。また、スコップで大量に氷を持っていく人もいる。使った分を黒板に書けるようなことはできないか。

A 前日の水については、競売物を台車に乗せて置き、その上から水を置いてフタをするという対策をし、再利用している。なるべく水を余らせないよう努力はしているが、電気料金の値上げ等もあり、少しでも無駄にできない。防犯カメラを設置しているが、中には申告せず水を持つていく人もいるので、黒板に各自書くという意見はぜひ取り入れたい。

Q 販売手数料を上げることで、職員の給料等へ反映するのか。

A 信用譲渡が見直しとなったことで、多額の借入はなくなった。だからといって、その分を全て職員へ回すという事ではないが、待遇改善については今後理事会等で検討していきたい。

Q 販売手数料を上げるのであれば、若い職員が続けられるようにしてもらいたい。

A 各支所でも同じ意見が出た。検討中である。

Q 急に手伝いで漁船に乗り、もし事故などが起きた場合の保険はあるか。

A ノリコーに入るよう指導している。

Q 水の購入明細について、以前黒板に1本と書いたが、いたずらで7本と書きかえられたことがあった。正確な管理は難しいのではないか。

A 異変に気付いた際には、防犯カメラ等で調べるのですので申し出てほしい。在庫管理はしている。

※販売手数料の改定について反対意見はなかった。

吹浦支所

3月7日(火)
午後1時30分出席者16名

Q 販売手数料を1%上げて何年もつのか。

A 販売手数料を上げるなら2%上げればどうかという意見もでたが、近隣組合とのバランスが取れない等の要因から1%とした。

Q 現状のATMで新札になった場合対応できるのか。

A 今のATMでは対応出来ない。新札は令和6年6月中旬発行予定だが、吹浦も含め漁協では

7台所有しており、お金がかかると話である為現段階では明言できない。

Q 国の都合で新札を発行するのだから、国や県等からの助成を組合からお願いしてもらいたい。

A 利用実態等を含め、調査して検討する。

※販売手数料の改定について反対意見はなかった。



理事会情報

令和4年度 第8回 理事会議案
開催日…令和5年2月15日(水)
場所…本所 第一会議室

【協議事項】

- 1 令和5年1月末現在の収支状況について
- 2 総代選挙について
- 3 役員候補者選任委員及び推薦会議要領(案)について
- 4 役員改選日程(案)について
- 5 漁業経営特別支援対策資金(単独融資) 受付期間の延長について
- 6 自己査定実施要領の改正と貸倒償却及び貸倒引当金の計上基準の改訂について
- 7 貸付金の審議について
- 8 役員の定年制に関する内規の廃止について

【報告事項】

- 1 令和4年12月末現在における資金運用状況について
- 2 令和4年12月末現在における余裕金の運用状況について
- 3 令和4年12月末現在における貸付金の状況について
- 4 令和4年度第3四半期における販売促進活動について
- 5 令和4年度第3四半期の「庄内海丸」の収支について
- 6 系統債権管理回収機構(株)に対する債権売却の申込の提出について
- 7 JFマリンバンク相談所とJAバンク相談所の一本化について
- 8 コンプライアンス推進委員会の開催について
- 9 組合員の加入・脱退について
- 10 信用事業譲渡の延期について



山形県浅海漁業連合会

榊原 英樹氏

このたび、令和4年度山形県浅海漁業連合会通常総会（書面決議）において、会長に選任いただきました榊原英樹です。

由良総括支所に所属し、自船の幸進丸にて磯見漁を営んでおります。

当連合会は会員相互の親睦を深め連携を図りながら、資源の維持管理・回復への取組みとして、毎年アワビ稚貝の放流に積極的に取り組んでおります。また、各関係機関と連携しながら密漁防止巡回活動を行い、漁場の管理にも努めています。

今後も庄内浜の活性化と水産業の発展のために取り組んで参りたいと考えておりますので、関係各位のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

新会長 紹介

山形県沿岸青年漁友会

佐藤 佑哉氏



このたび、令和4年度山形県沿岸青年漁友会通常総会において、会長に選任いただきました念珠閣総括支所所属の佐藤佑哉です。北洋丸にて底びき網漁業に従事しております。

当会は、45歳位までの青年漁業者で構成されており、レクリエーション等で親睦を図りながら、明朗かつ健康的で豊かな漁村づくりを目指しております。

その活動の一環として、昨年11月には県水産研究所のご協力のもと、当会主催のマダラ活締め講習会を開催し、より発展的な手法を会員皆で学んだところです。

今後も若い力を集結し、充実した活動ができるよう努めて参りますので、引き続き皆様方のご指導ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

第28回 全国青年・女性漁業者交流大会



右から土田信明会長と伊関領平副会長

3月1日東京・千代田区のホテルグランドアーク半蔵門でJF全漁連主催の「第28回全国青年・女性漁業者交流大会」が行われ、当組合からは漁青連の土田会長と伊関副会長、事務局の3名が参加しました。

この交流大会は全国の漁業者が日頃の研究や実践活動の成果を発表し、交流することを目的とした年に一度の大会で、別名「漁師の甲子園」とも呼ばれています。

今回の大会では、デジタル技術を活用した事例や、産直ECの活用による販路の拡大事例、蓄養や養殖での今後の漁業における作り育てることの重要性などが盛り込まれた発表が多数あり、漁業にかかわる我々にとって、大変刺激となりました。

今後、ぜひこの事例を持ち帰り、発展的で持続可能な漁家経営の礎となるような取組を改めて漁業者の皆様と考えていきたいと思いをしました。

指導課 佐藤 悠太郎

ご存じですか？ 人気急上昇の Youtube動画！



庄内浜文化伝道師 presents
**魚さばかない
チャンネル**
～お手軽！ 時短レシピ集～



県では、“さばかない・時短・プロの味”をコンセプトに、店頭で購入した魚の切り身等を使って簡単においしくできる魚料理のレシピを提供しています。

現在は「アクアパッツア」、「ホイル焼き」、「かぶら蒸し」、「ピカタ」のレシピ動画を公開中です。今後も続々とレシピを公開予定ですので是非一度ご覧ください。

山形県庄内総合支庁 水産振興課
(庄内浜文化伝道師協会事務局) 齋藤 亜希

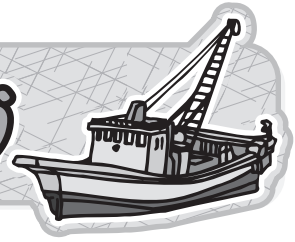


チャンネル登録
お願いします！
魚さばかない
チャンネルは
こちらから





何でも魚^{うお}ツチング



春の訪れを告げる魚

長く寒い冬を終え、河川敷の桜の芽が膨らみ始めた今日この頃、庄内への春の訪れを感じるようになりました。春のイメージとして、桜を連想される方が多くいらっしゃるかと思いますが、山形には春の訪れにふさわしい魚がいます。それがサクラマス(桜鱒)です。読んで字のごとく、桜の季節に川に上る魚ですが、秋には“婚姻色”といって体表がピンク色に染まり、桜に負けないうくらい綺麗な魚だと私は思います。



サクラマス

サクラマスは、春の郷土料理として、庄内ではお祝いの席で食され、また釣りといったレジャーでも山形県民から愛されている魚です。もちろん、“県の魚”としても選定されている魚です。

そんな山形で古くから愛されているサクラマスですが、いったいどんな魚なのかを簡単にご紹介します。山形で獲られるサクラマスは、秋に産卵・ふ化し、約1年半河川で生活します。その後、春には、海に下る個体(降海型)、河川に残る個体(河川残留型)の大きく二つに分かれ、海洋生活を送る個体を“サクラマス”、生涯を通して河川生活を送る個体を“ヤマメ(山女魚)”と呼んでいます。海に下ったサクラマスは、日本海を北上し、夏の水温が高い時期をオホーツク海、冬を北海道の日本海や太平洋沿岸で過ごします。その後、春になって、再び生まれ育った川に戻り、私たちに春の訪れを知らせてくれます。ちなみに、北海道の斜里川には、約3mの滝をたくさんのサクラマスが力強く飛び越える場所があり、“さくらの滝”として観光名所になっています。河川の中上流域に向かって力強く上るサクラマスは、上流の産卵場所へ辿り着き、次世代に命を繋いでいきます。



ヤマメ



サクラマス釣り

ご紹介した通り、サクラマスは海と川の二つで生活する特徴がある魚です。つまり、どちらかの生活環境が変わると数が減ってしまう可能性があるということです。山形県では、これまでもサクラマスを守る取り組みを行っていますが、最終的に必要なのは県民の方々、一人ひとりのサクラマスの生活環境を守ろうという意識・行動だと思います。

ぜひ、皆さんもサクラマスに目を向け、漁業以外にも食文化やレジャーとして楽しみましょう。

水産関係で初！山形県科学技術奨励賞を受賞

山形県科学技術奨励賞は優れた成果を挙げた若手研究者を対象としたもので、山形県水産研究所の高木牧子主任専門研究員が「庄内おぼこサワラのブランド力維持と研究所が果たす役割」で受賞しました。水産関係では初の受賞となる快挙で、長年の鮮度保持技術向上に関する研究成果が認められたものです。今後も真摯に研究に向き合い、本県水産業の発展に貢献できるよう、職員一同頑張りたいと思います。



右から2番目が高木牧子氏

水産研究所 研究員 五十嵐 大将

生活総合共済

くらし

あなたの家の補償大丈夫!?

多くの命や財産が失われた2011年3月11日。東日本大震災から今年で12年を迎えました。

この間も全国各地で地震・豪雨災害など様々な自然災害が発生しています。本県においても2019年の山形県沖地震、豪雨による河川の氾濫・大規模な土砂災害など、災害は私たちの生活に大変身近な存在となっています。

このような自然災害による被害件数や支払われる事故共済金は年々増加傾向にあり、補償の必要性は高まる一方です。

この機会に建物・家財の補償内容を再度見直しましょう。JFの建物共済「くらし」は火災による損害のほか、風害・水害・地震といった自然災害を補償する総合共済です。

※以下のような自然災害への補償を、より拡充した内容は2017年7月1日以降、ご加入された契約が対象となります。



風・ひょう・雪災による損害を補償

※3万円以上の損害でお支払い!

例えば・・・

雪災による雨樋の破損、強風による外壁等の破損、強風によるアンテナの倒壊、強風によるベランダ屋根の破損 など



水害による支払共済金を拡充

※損害割合30%以上または、床上浸水の場合、損害額の全額をお支払い!

※ 付保割合が①住宅用建物で60%、②一般物件では80%以上の場合であること。

※ 加入共済金額を上限として損害の額をお支払いします。



地震による損害の支払共済金を拡充

全損時は
加入共済金額の
30%をお支払い

大半損で
加入共済金額の
20%をお支払い

小半損で
共済金額の
10%をお支払い

※一部損については加入共済金額の3%をお支払いします。

例えば… 共済金額1,000万円 共済期間10年 満期共済金額20万円
住宅・木造の場合 共済掛金月々:5,200円 (年払掛金:57,900円)
となります。

上記の内容は、生活総合共済(くらし)の概要を説明したものです。詳しくは山形県漁業協同組合本所・各支所もしくは、JF共水連東北事業本部山形支店(Tel:0234-22-0021)へお尋ね下さい。

ご契約の際は「重要事項説明書」及び、「ご契約のしおり」を必ずお読み下さい。

酒保の海だより

酒田海上保安部から皆様のお役に立つ情報第六弾！！
春となり本格的に船を出せるシーズンがやってきます。
長い冬を耐えた愛船をいたわってあげましょう！。

春はエンジントラブル多発

春メンテしよ!

プラグ交換

塩気を吸気しているので車より劣化が早い。

エンジンオイルとフィルタ交換

“規定量”入れたのに、ゲージで計ったら量が多い場合は、タンクに海水又は燃料が混ざっている恐れがあり、オイルが褐色に濁っていれば海水（エンジン内部に穴）、燃料が混ざり、油の粘度が落ちていればサーモスタットの不良を疑います。

ギヤ&オイルパッキン

低温と風に長くさらされていたギヤオイル・グリス・パッキンは変質している可能性が大了。稼働部やギヤのグリスアップ、オイル交換はしておきましょう

サーモスタット

蓋のセンサー部分が腐食して温度測定不良を起こすと、エンジンが常時冷えていると判断し、濃い燃料を出し続け、過剰燃料がオイルタンクにたまりオイル劣化を起こします

冷却水ポンプのインペラ

羽根の部分が曲がり冷却水の圧送不良となりますので注意ですカバーを開ければ見えるようになっていますので点検しましょう



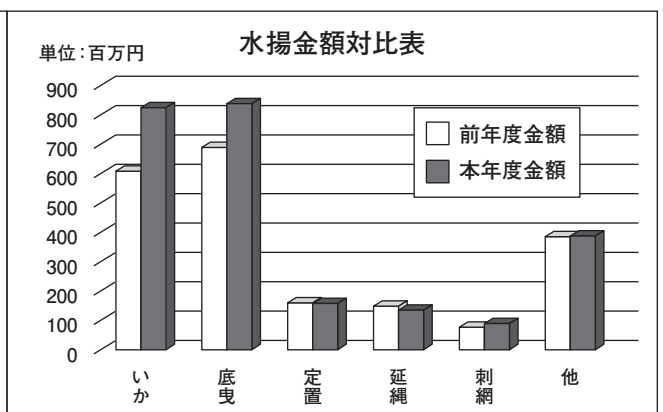
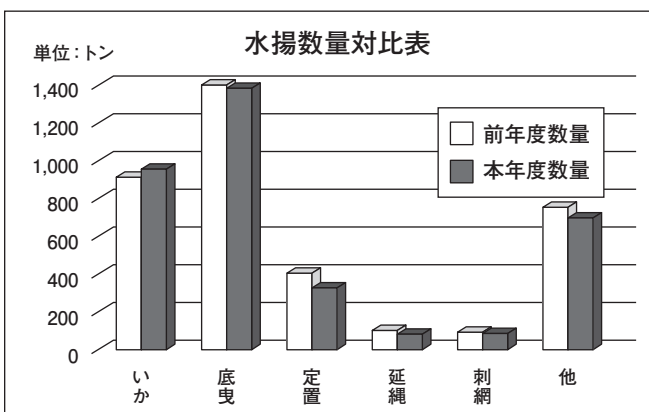
海の事件・事故は電話118番
酒田海上保安部

漁業種類別前年度水揚対比表

令和5年2月28日現在

(単位：kg, 千円)

	2月数量	本年度数量	前年度数量	数量増減	2月金額	本年度金額	前年度金額	金額増減
1 底曳網漁業	272,494	1,385,332	1,396,457	▲11,125	95,643	838,131	688,857	149,274
2 刺網漁業	3,714	91,870	94,155	▲2,285	4,104	91,051	77,727	13,324
3 いか一本釣漁業	16,858	474,828	113,709	361,119	17,204	310,748	81,116	229,632
4 船凍いか釣漁業	0	479,200	795,000	▲315,800	0	511,893	526,867	▲14,974
5 はえなわ漁業	2,126	87,585	108,525	▲20,940	2,627	134,736	150,552	▲15,816
6 ごち網漁業	0	92,303	89,395	2,908	0	58,398	48,187	10,211
7 定置網漁業	385	330,804	408,507	▲77,703	183	157,763	157,665	98
8 採貝藻漁業	3,015	73,372	102,325	▲28,953	4,444	67,192	82,107	▲14,915
9 その他の漁業	1,263	517,808	560,544	▲42,736	1,573	172,697	164,835	7,862
10 張網漁業	1,207	10,978	5,628	5,350	1,092	6,041	2,520	3,521
11 遊漁、直売、県外	0	0	0	0	23,401	84,215	87,286	▲3,071
合計	301,062	3,544,080	3,674,245	▲130,165	150,271	2,432,865	2,067,719	365,146



取返しの付くうちに！無理は絶対禁物です

水揚情報

令和5年2月28日現在

(単位：千円)

区分	支所別	水揚合計	水揚地内訳							
			吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関
1月末迄水揚累計		2,221,786	85,321	52,518	992,188	112,450	277,978	150,772	28,378	522,181
月間水揚	県内船水揚	111,044	7,830	7,084	21,631	773	17,433	7,230	239	48,824
	県外船水揚	15,827	0	0	15,827	0	0	0	0	0
	合計	126,871	7,830	7,084	37,458	773	17,433	7,230	239	48,824
前年同月水揚		65,844	4,687	5,896	12,708	656	10,421	4,545	202	26,729
本年度水揚	県内船水揚	1,578,358	93,151	59,602	317,747	113,223	295,411	158,002	28,617	512,605
	県外船水揚	770,299	0	0	711,899	0	0	0	0	58,400
	合計	2,348,657	93,151	59,602	1,029,646	113,223	295,411	158,002	28,617	571,005
前年度水揚累計		1,980,429	77,806	48,089	854,083	110,636	244,752	141,687	30,727	472,649
増減		368,228	15,345	11,513	175,563	2,587	50,659	16,315	-2,110	98,356
本年度水揚計画		2,400,000	95,000	68,500	1,047,000	144,500	308,000	195,000	34,000	508,000
達成率		97.8%	98.0%	87.0%	98.3%	78.3%	95.9%	81.0%	84.1%	112.4%

今あがっている魚

- 3月のベストテン -

前年対比 増↗ 減↘ 変らず→

水揚金額(千円)				漁獲量(kg)			
1	たら	42,591 ↗		1	たら	201,720 ↗	
2	するめいか	17,186 ↗		2	するめいか	16,876 ↗	
3	ほっこくあかえび	16,050 ↗		3	たらい	16,292 ↗	
4	たらい	12,762 ↘		4	ほっこくあかえび	9,535 ↗	
5	やりいか	6,781 ↗		5	さめ類	7,340 ↘	
6	たこ類	2,892 ↗		6	やりいか	5,598 ↘	
7	あんこう	2,175 ↗		7	あんこう	4,289 ↗	
8	あじ	1,607 ↘		8	あじ	3,055 ↘	
9	ひらめ	1,606 ↘		9	たこ類	2,712 ↘	
10	めばる類	1,160 ↗		10	ひらめ	1,056 ↘	

月間MVP

月間MVP

○令和4年度も残すところわずかとなりました。気候も穏やかになり、春の訪れを感じています。

○今年の冬は、比較的大きいタラが漁獲されており、前年と比較すると漁獲量、単価ともに上回りました。しかし、県水産研究所の調査によれば、現在小さいタラの資源が少なく、今後タラの漁獲量が減少する可能性があります。今後の話が出ており、今後ますます資源保護に注力する必要があるようです。また、鮮度保持のための技術向上を行い、少ない資源に付加価値をつけ、魚単価を向上させる努力が必要となってくるでしょう。

○そのようななか鼠ヶ関地区では、県水産研究所とともに紅エビを活魚で出荷する取り組みを行っており、本誌にも紹介しているように、2月20日〜22日にかけて漁業者と組合職員、県水産研究所員が参加し、石川県漁協西海支所へ活エビ出荷技術を学びに視察へ行きました。ここでは、活エビ出荷だけでなく活めエビという新たな出荷方法を学ぶことができたということで、一番の収穫だったようです。今後の鼠ヶ関の紅エビにぜひ期待してください。

○新型コロナウイルス感染症が流行して3年の月日が経ちました。3月よりマスク着用が緩和され、5月には当該感染症は5類へと引き下げられますので、このままコロナ以前の生活に戻ってみたいと思います。

○春といえば出会いと別れの季節です。学校を卒業して今春から新生活が始まる人もいるかと思えます。皆様に良い出会いが訪れますよう、心より願いながら編集後記の筆をおきたいと思えます。

○今後もしさいさん山形は組合員の皆様からのご意見・ご指導を賜りながら、より良い広報誌を目指してまいりますので引き続きよろしく願いいたします。

編集後記

念珠関総括支所 結城 拓哉

海上のプロが 命を救う

1月18日、県漁協本所にて酒田海上保安部
村上次長より、漁業関係者5名に海難事故救
助活動に対する感謝状が贈呈されました。

感謝状が授与されたのは、山形県水難救済
会酒田救難所長の池田亀五郎氏、袖浦救難
所救助長の田代善幸氏、酒田・袖浦救難所部長の石川拓也氏、第
二十八廣徳丸乗組員の石垣陽平氏、県漁協さかた総合市場長の池
田剛氏です。

皆様は、昨年11月に起こったボート転覆事故において、救助活
動他関係機関との連絡調整に当たり、そのことが人命救助に繋が
りました。

当日は波が高く、大変危険な状況下での救助だったとのことで、
救助者はもとより、救助に当たられた皆様のご無事が何よりでした。

漁業者の多くは漁業を営む傍ら、海上で事故があればいつでも
出動できるよう常々訓練を行い、準備を怠ることはありません。
がその活動は常に危険が伴うボランティア活動です。

海洋レジャーを含め、皆が安全に海上で過ごせますよう、水難
事故が少しでも減ることを切に願います。



右から村上次長、池田亀五郎氏、石垣陽平氏、田代善幸氏、石川拓也氏



救助の様子

石川県西海支所へ活エビ出荷 先進地視察に行ってきました!!



令和4年度広域浜プラン実証調査事業の取組みの一つとして、底曳網漁業で漁獲される紅エビ付加価値向上と販売体制構築を検討するため、活紅エビ出荷技術開発にかかる先進地視察を行い、県漁業士会からは五十嵐会長ほか3名、それに県及び当漁協職員を加え総勢9名が参加しました。

視察先の石川県漁協西海支所は活紅エビ出荷の先進地であり、昭和60年から取り組まれています。

視察では初めに、活エビ出荷を始めるに至った経緯や、蓄養水槽を活用した高鮮度な紅エビ出荷の現況についての説明を受け、その後、施設内を見学しました。市場にはエビ・カニ用のFRP水槽（14トン）と魚類用の水槽が常設されており、活魚のまま持ち帰り、選別後その一部を水槽に入れ数日後に活締めエビとして出荷しているとのことでした。

その後、参加者の希望で底曳網漁船を見学させてもらい、地元漁業者からは「水質管理の面では塩分よりも温度が大事、エビの温度を下げることでその後のエビの鮮度に大きく影響する」と貴重な助言をいただきました。

劣化が早い紅エビでも様々な工夫で数日間の鮮度保持が可能となり、それが魚価の向上にも繋がっているという実践的な様子を知り、今後の取組に大変参考となりました。

西海支所の皆様、快く視察を受け入れていただき本当にありがとうございました。

指導課 小笠原 健